

2023年3月17日  
東京海上ホールディングス株式会社

## CDPによる2022年「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価を獲得

東京海上ホールディングス株式会社(取締役社長 グループ CEO 小宮 暁、以下「当社」)は、国際的な環境非営利団体 CDP<sup>(※)</sup>による2022年「サプライヤー・エンゲージメント評価(SER)」において、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されましたのでお知らせします。

サプライヤー・エンゲージメント評価(SER)とは、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するもので、最高評価を獲得した企業が「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されます。

2022年度は、評価の対象となった世界の企業の上位8%(世界で653社、うち日本企業131社)が、サプライヤー・エンゲージメント・リーダーに選定されています。当社は、サプライヤーと協働したCO2排出量削減の取り組みが高く評価され、選定されたものとなります。

当社は、気候変動対策をグローバルな重要課題として位置づけ、早くから取り組みを推進してきました。

2021年度には「2050年までに投融資先を含めたCO2排出量実質ゼロをめざす」ことを公表するなど、お客様や投融資先の脱炭素社会への移行を全力でサポートしています。

今後も、ビジネスパートナーの皆様とともにバリューチェーン全体を通じた気候変動対策を推進し、安心・安全でサステナブルな未来づくりに貢献してまいります。



※CDP: 環境情報開示のプラットフォームを運営し、企業や自治体に気候変動対策等に関する情報開示を求め、気候変動対策等を促すことを主たる活動とする非営利団体(本部ロンドン) <URL: [www.cdp.net](http://www.cdp.net)>

(ご参考)東京海上グループのサステナビリティの取り組み<サステナビリティレポート>  
[https://www.tokiomarinehd.com/sustainability/pdf/sustainability\\_web\\_2022.pdf](https://www.tokiomarinehd.com/sustainability/pdf/sustainability_web_2022.pdf)

以上